



平成 19 年 6 月 21 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 川井 隆史
(Tel: 03 - 5510 - 2407)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 9 日の通期決算発表時に公表した平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間の業績予想の修正

(1) 連結業績予想(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,072	56	82
今 回 修 正 予 想 (B)	485	526	528
増 減 額 (B - A)	587	470	446
増 減 率 (%)	54.8		

(単位 : 百万円、%)

(2) 単体業績予想(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	107	149	119
今 回 修 正 予 想 (B)	105	50	188
増 減 額 (B - A)	2	99	69
増 減 率 (%)	1.2		

(単位 : 百万円、%)

2. 平成 19 年 12 月期通期の業績予想の修正

(1) 連結業績予想(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,597	352	366
今 回 修 正 予 想 (B)	934	618	668
増 減 額 (B - A)	663	266	301
増 減 率 (%)	41.5		

(単位：百万円、%)

(2) 単体業績予想(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	223	234	213
今 回 修 正 予 想 (B)	213	187	350
増 減 額 (B - A)	10	47	137
増 減 率 (%)	4.5%		

(単位：百万円、%)

3. 修正の理由

中間期の連結業績予想の下方修正につきましては、主な要因として、投資・投資育成事業において、投資先の上場が遅れたこと等による想定以上の投資損失引当金の計上や、予定していた株式の売却の一部が下期以降に遅れる見込みとなったことが挙げられます。

また、バイオマーカー創薬支援事業においては、前期から提供開始しているPGxトータルソリューションサービスにおいて複数の国内外製薬企業から引き合いを頂いておりますが、受注手続きに予定より時間を要しております。

以上の結果、中間期におきましては連結業績で前回予想に比べて、売上高は587百万円減の485百万円、経常損失は470百万円増の 526百万円、当期純損失は446百万円増の 528百万円となる見込みであります。

通期の連結業績予想につきましては、主に、本日付で発表した「事業再構築プラン（新生 MediBic Group 2007）」「第三者割当増資に伴う子会社（メディビック・アライアンス）の異動に関するお知らせ」に基づくものです。バイオ事業への経営資源の一層の集中による早期収益化を目的した施策で、当該子会社の異動もその一環です。これらの施策により、当初予算上組み入れていた下期のメディビック・アライアンスによる投資・投資育成事業売上、分離により除外されることや、再編に掛かる諸費用など一過性の費用が増加する

こと、さらにはP G x トータルソリューションサービスにおける受注の若干の遅れも予測し、見込み修正を行っております。

以上の結果、通期におきましては連結業績で前回予想に比べて、売上高は663百万円減の934百万円、経常損失は266百万円増の 618百万円、当期純損失は301百万円増の 668百万円となる見込みであります。

なお、単体の業績予想につきましても、1(2)及び2(2)の通り、修正を行っております。主な要因としては、グループ会社間取引によるものであり、連結決算上相殺消去されるため、連結決算での影響額はございません。

(注) 本資料に記載している業績予想等につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しております。そのため実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上